

■横山中学校区 C-1 【理想の暮らしとありたい姿】

第1回 八王子市のみんなの未来を考えるワークショップ

原因

人材不足、資金確保が困難
様々な世代で横のつながりが希薄化
町会、子供会の存続危機

町会だけではやりきれない	町会・自治体負担が大きい
参加しやすいことが重要	子ども・大人もお互いのことを知らない
孤立化 大人も子ども	

つながり ●誰でも集える場所→「誰でも」的なネーミング ●サークル的な気軽な集まり

一人一人のつながり横のつながり	話せる場がある	“あいさつ” みんなで	お茶飲みながら語らえる場所	みんなのカフェ(居場所)がどこの町にもあったらいいな
好きなことなら集まれる	共通チケットを利用できる(お店)	職業関係なく交流の持てる場がある	誰もが参加できることが大事	美味しい食事
ミニ四駆 大人も子どもも参加	縁側座談会	多世代	次の集まりにつながっていく	楽しい未来 “みんなで”

担い手

文化・歴史を伝える、理解できる場が欲しい
→地域に対する愛着が湧く

人材発掘	やることはあるのは生きる活力	やりがい 生きがい	町会、子ども会が残っていることが大事
若い人へとつなげていく	(シニア) 生きがい ↓ ボランティア 学校のガーデニング	学生が地域のことを知らない	町会の方々それぞれの強みがある
技術者が多い	現役を退職された60代の方 地域活動へ参加 1.防犯・防災のグループ参加 パトロールなどをする 2.地域の美化 3.地域の遺跡探し	リタイアしてすぐの人は遠慮している?	お金は100円でももらったほうがいい(責任感が出る)

文化・歴史

文化・歴史を伝える、理解できる場が欲しい
→地域に対する愛着が湧く

自分達の文化を知ることで意識が変わる	文化・歴史が理解できる場が増えるといい(例:八王子史の解説の場など)	千人同心 絹の道などのPRや勉強会 地域をもっと知る!
文化遺産の発表の場	八王子文化の魅力の発信	文化・芸術に対するPR
生活の中で文化を知っていく	地域の面白さを伝えたい	食事と文化がつながっていく

子ども

子どもは色々なことに興味持つ
→子どもの発想を取り入れることのできる街

色々な場所を知ることきっかけに!	子ども食堂の充実(一部の善意の人への負担を少なく)
エリア関係なく子ども会参加OK	子ども会3人...子ども会をもっと活発に!
交流することで新しいものが産まれる	イベントを通して商店街のことを子どもたちも知ることができる
(子ども) おもいきり体を動かせるプレイパーク	子ども家にも入れず玄関先で...

子育て世代

共働きで忙しい	お母さん方が動いてくれることが大事
(子育て世代) 孤育てにならないような支援	

学生

担い手候補としても

一人暮らしの学生(一人親も?共働きも?)共通チケットで食事ができるお店(事前購入)	食事をするときなどにSNSで発信	学生とのふれあい
学生が行きやすいようにする		

キーワード

つながりの生まれる場所 美味しい食事付き!

・様々な世代や背景の市民が、それら属性に関係なく、気軽に集まりつながれる場所・機会づくり。例えば趣味の共有の場、例えば文化・歴史を伝える場所。
・居場所づくり≒食事の場。食事は生きる上で欠かせないもの。食事の場は、世代に関係なく誰もが集まる場所。それは、“誰でも”集えて、“つながり”が生まれる場所になる。